

探究学習・STEAM教育を支援するWEBサイト「サイエンスティーム」 教育支援補助教材 「生成AI活用ガイド」新規公開のご案内

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

本誌1月号で、JSTの探究・STEAM教育に関する情報サイト「サイエンスティーム」（<https://scienceteam.jst.go.jp/>）をご紹介いたしました。このたび、新たにSTEAM教育支援補助教材「生成AI活用ガイド」を公開いたしましたので、お知らせいたします。



各各種「生成AI活用ガイド」

本教材は、文部科学省、総務省が定めた、AIの利活用に関する各種ガイドラインをベースに、AIの特徴や利活用時のモラル・注意点を含めた指導方法や事例を取り上げ、教員が安心して生成AIを授業に取り入れられるよう支援することを目的としています。

今回のテーマである「生成AI」は、STEAM教育を構成する分野、特にS（Science）、T（Technology）、E（Engineering）の知識や経験を重視し、基礎知識から児童生徒への指導方法、倫理的視点まで幅広く扱っています。

その上で、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という探究学習のサイクルを軸に、生徒の思考を促し、主体的・協働的に学習へ取り組める授業づくりを支援する「生成活用ガイド」と「指導案」を制作しました。

<主な掲載内容>

- 小学校編・中学校編・高等学校編ごとに、
- ・「生成AI活用ガイド」
- ・「指導案」
- ・「レッスンスライド」、「ワークシート集」
- ・「付録／地域（学校）でつくるオリジナル活用ガイドライン、校務活用事例等」

<概要>

【小学校編】

小学校編では、主に5・6年生を対象としています。が、低学年、中学年で実施する際の留意点や児童の実態に即した指導案、学年を跨いだ経年的な学習準備段階なども紹介しています。

【中学校編】

中学校編では、小学生に比べて活動範囲が広がり、既習知識も増えていることを考慮した指導案や情報リテラシーについて紹介しています。

【高等学校編】

高等学校では、小・中学校とは異なり「情報科」の履修に加え、「総合的な探究の時間」を中心とする教育課程が組まれているのが大きな特徴です。そこで、高等学校編では、特定の教科に偏ることなく、複数の教科を横断しながら「生成AI」というテーマに取り組めるよう、さまざまな教科の教員がつながりながら実践できるよう制作いたしました。

◆本教材は何れの校種でも「基礎編」、「実践編」で構成しており、学校のカリキュラムに合わせ、ご利用いただくことが可能です。

◆スターターキット

「スターターキット（STEAM教育支援補助教材）」は、無料でダウンロードしてご利用いただけます。

<https://scienceteam.jst.go.jp/starter/>



◆STEAM関連教育事例

様々な校種・分野の探究・STEAM教育実践資料がご覧いただけます。

<https://scienceteam.jst.go.jp/example/>



◆貴校の事例を掲載しませんか？

貴校独自の取り組みや、「スターターキット」を使用した教育事例等を是非ご紹介ください。

【お問い合わせフォーム】

https://form2.jst.go.jp/s/st_inquire

